

# 市民センター等の未来ビジョン通信 - No.2 -

～市民センター・コミュニティセンターを知っていますか？～

2022年8月 町田市

## □「市民センター等の現状は・・・？」

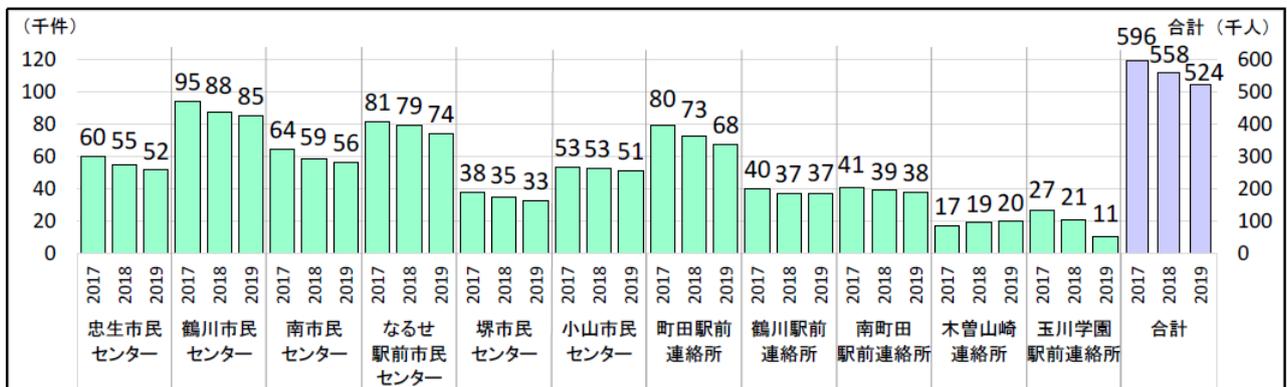
【図1 施設一覧表】

町田市は、行政窓口として市民センター6か所・連絡所5か所を設置しており、集会施設として市民センター6か所・コミュニティセンター等8か所を設置しています。(図1)

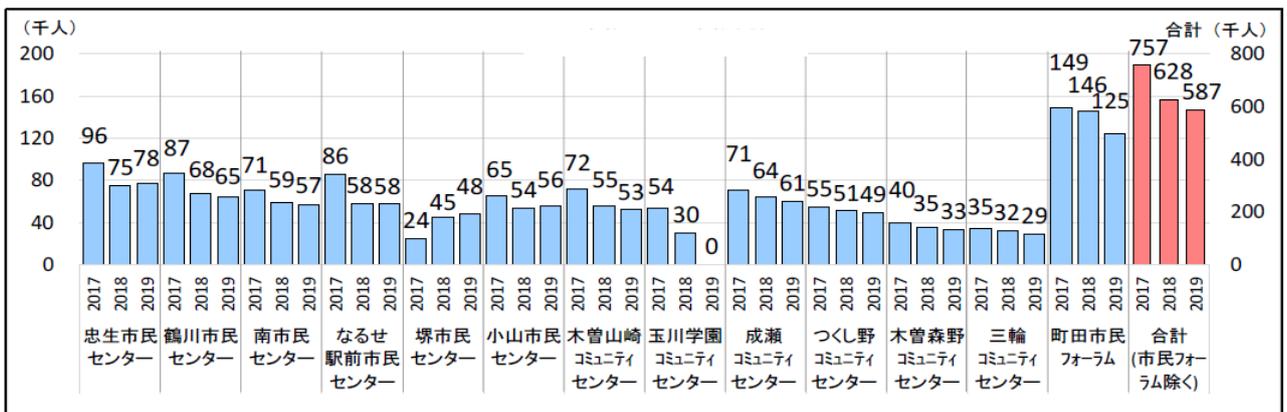
近年、行政窓口の取扱件数と、集会施設の利用者数は減少傾向となっています。マイナンバーカードを使用したコンビニエンスストアでの証明書発行が普及することで、証明書発行に関連する行政窓口の取扱件数は、今後さらに減少することが見込まれます。(図2、図3)

種類	対象施設	延床面積	築年度	施設内容	
				行政窓口	集会施設
市民センター	忠生市民センター	4,687	2014	○	○
市民センター	鶴川市民センター	2,610	1985	○	○
市民センター	南市民センター	2,117	1986	○	○
市民センター	なるせ駅前市民センター	2,077	1995	○	○
市民センター	堺市民センター	2,863	1982	○	○
市民センター	小山市民センター	2,705	1994	○	○
連絡所	町田駅前連絡所	109	1998	○	-
連絡所	鶴川駅前連絡所	67	2012	○	-
連絡所	南町田駅前連絡所	121	2009	○	-
連絡所/コミュニティセンター	木曾山崎連絡所(木曾山崎コミュニティセンター)	2,105	1982	○	○
連絡所/コミュニティセンター	玉川学園駅前連絡所(玉川学園コミュニティセンター)	1,716	2020	○	○
コミュニティセンター	上小山田コミュニティセンター	258	1977	-	○
コミュニティセンター	成瀬コミュニティセンター	1,850	2016	-	○
コミュニティセンター	つくし野コミュニティセンター	1,003	1982	-	○
コミュニティセンター	木曾森野コミュニティセンター	1,000	1988	-	○
コミュニティセンター	三輪コミュニティセンター	1,488	2001	-	○
市民フォーラム	町田市民フォーラム	4,465	1999	-	○

【図2 行政窓口の取扱件数の推移】



【図3 集会施設の利用者数の推移】



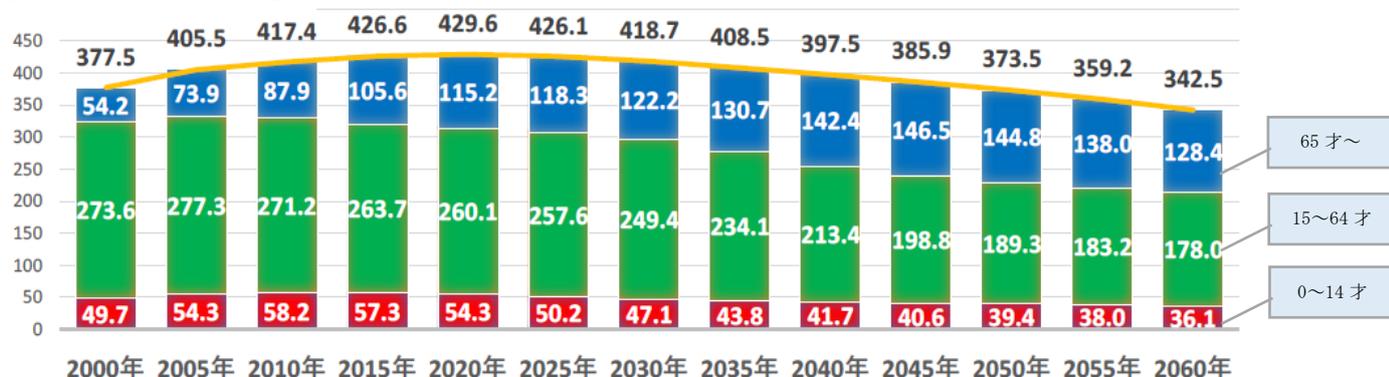
※新型コロナウイルスの影響のない2017年～2019年の期間について掲載しています。

# □「市民センター等の課題と、将来のあり方は・・・？」

## ～公共施設(市民センター等)を取り巻く環境の変化～

【図4 町田市の将来人口】

出典：町田市「住民基本台帳」(2000～2015年)、町田市未来づくり研究所「将来人口推計」(2020～2060年)



町田市の公共施設の半数は、築30年以上と老朽化しています。既存施設を築80年まで使用すると想定した場合、これまで公共施設にかけた年間経費の1.6倍の支出が見込まれます。

また、町田市が行った将来人口推計の結果によると、2020年以降、町田市の総人口は長期に渡る減少局面に移行していく一方で、老年人口は2050年まで増加を続ける推計となっています。(図4) 今後、市民センター等に対するニーズも変化していくと考えられています。

## ～市民センター等が、便利で楽しい地域の拠点に変わります～



2020年に実施した市民意見募集や各地区協議会へのインタビュー、市民ワークショップ等では、市民センター等に求める機能として、地域の拠点として多世代交流ができること、気軽に立ち寄れて多様な利用が可能であること、民間と協働した魅力的なサービスの提供が受けられることなどの意見が寄せられました。

また、市民センター等の行政窓口の役割については、デジタル化が進む一方で、デジタル機器の操作に慣れていない方への対応や、困った時に身近な場所で相談できる場所が必要との意見が寄せられています。

こういった、市民センター等に求められる役割の変化に対応して、地域の実情・特性に応じた市民センター等の新しいあり方を実現し、便利で楽しい地域の拠点へとチェンジしていきます。

【取り組みに関するお知らせは町田市ホームページでご覧いただけます】



市民センター等の未来ビジョンに関する詳しい情報はこちら(町田市ホームページ)をご覧ください。



※本通信は随時発行します。バックナンバーについては、町田市ホームページに掲載をしています。